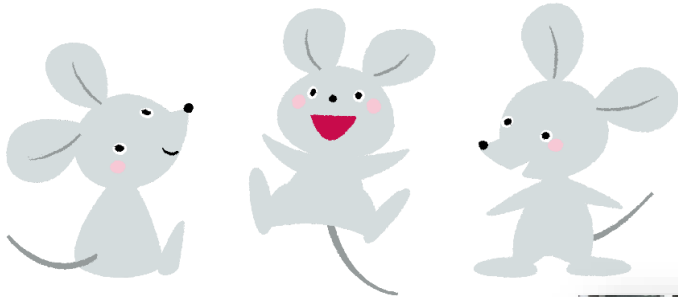


# 婦人の家 タイムス Times

第78号

2年2月発行  
牧之原地区センター  
(農村婦人の家)



東京で2回目のオリンピックが開催される2020年は、日本にとって大きな節目となります。中国の「漢書」より「子」(ね)はたくさんの子を産むことから繁殖するという意味をもち、新しい生命が種子の中に萌し始める状態を表していると言われています。

牧之原地区が、ますます繁栄することを心からお祈り致します。今年も婦人の家をよろしくお願い致します。

## 婦人の家 大掃除 ～12月8日(日)～

婦人の家を利用している利用委員会の皆さん、正副自治会長、下区班長さん、ダンベルの会、生き生きサロンの役員さん、総勢50人が集まり、大掃除を行いました。外の剪定、婦人の家内のガラス拭き、床、玄関、水回りなど、役割を分担し、あっという間にきれいになりました。気持ちよく新年を迎えることができ、本当にありがとうございました。



子ども会では、六年生を送る会を兼ねたボーリング大会が、12月22日(日)に行われました。  
浜岡グランドボールを会場に、みんなで食事をしたりと、一日楽しいひと時を過ごしました。



## 生き生きサロン 12月13日(金)「クリスマス会」 1月14日(火)「交通教室」

☆生き生きサロンでは1年で1番楽しみにしている「クリスマス会」が行われ、34人が出席しました。一日ゆっくりと食事をしながらおしゃべりしたり、ビンゴゲーム大会やカラオケをやったりと、まだまだ元気な皆さんです。

☆シニアドライバーの多い牧之原地区では、毎年1回「交通教室」を行なっています。講師に菊川警察署から交通安全指導員の松永さんと鈴木さんに来ていただき、最近の交通事故状況をはじめ、高齢者の交通事故についてお話していただきました。昨年の菊川市の交通事故件数は248件で平成30年より、5件減少していますが、菊川警察署管内の死亡事故は、1件で菊川市で発生し、高齢者の横断中に起きています。特に高齢者の運転事故が全体の4割あり、中でも出会い頭事故と追突事故が一番多いそうです。

## 事故防止の基本 「止まる」「見る」「待つ」



## 今後の予定

- ☆ 2月4日(火) 19:00～ 婦人の家  
自治会女性部 新役員改選及び交代会  
(令和2年度の連絡委員さんはお集まりください)
- ☆ 3月8日(日) 19:00～ 牧之原上区集会場  
牧之原上区総会
- ☆ 3月22日(日) 19:00～ 牧之原婦人に家  
牧之原下区総会

～生き生きサロン無料体験実施中～

- ♥ 2月13日(木) 13:30～ 婦人の家 : 牧之原小学校3年生との交流会
- ♥ 3月13日(金) 13:30～ 婦人の家 : ダンベル体操 (持ち物 上靴)



婦人の家を利用する皆さんへ・・・時々電気、換気扇の消し忘れがあります。責任者の方は、必ず確認をお願いします。

# 婦人の家 Times

地域防災訓練

第78号

2年2月発行  
裏面号  
(農村婦人の家)

## ～牧之原地区防災訓練～

令和1年12月1日(日)



朝8時 震度5以上の大規模地震が発生したことを想定したサイレンと共に警戒宣言が発令しました。その合図で牧之原農村婦人の家が自主防災本部、多目的広場を避難所として設営されました。速やかに住民が避難集合場所に集まり訓練が開始されます。

まずは、情報収集、伝達訓練です。ただちに各班の班長さんは、班内を見回り、安否状況、安全旗の確認、そして7日分の備蓄食料を用意していない方の件数を調査します。同時に防災委員が物資を避難所に搬入し、自治会女性部が炊き出しの準備に入りました。



各班の班長さんは、防災委員へ安全確認旗の状況を報告。防災委員は集計し、本部(婦人の家)にいる自治会長へ無線で報告をしました。そして牧之原防災本部で待機している自治会長は、六郷地区防災会連絡本部へデジタル無線機を使って報告をしました。これまでの流れが一番重要で大変な伝達訓練となります。



次に設備設営訓練、けが人救出訓練と消火訓練です。  
ここからは、消防団と防災委員が中心になって進められました。

発電機を使った投光器の設営、簡易トイレの組み立てを防災委員の指導の下、牧之原中学校男子が体験しました。

また、元茶業研修所の建物が倒壊してけが人が出たことを想定し、リヤカーで現場に行き、けが人を救出し、避難所まで搬送する訓練も行われました。この一連の工程訓練は班長さんが中心になって体験しました。

そして消防団の皆さんが初期消火訓練を指導してくれました。消火訓練は、一般家庭にある粉末消火器を使って行うやり方と水消火器を使ってペットボトルを標的に行うやり方があります。粉末消火器は、女性や高齢者の方が体験し、水消火器は、小学生低学年の児童たちが、訓練を行いました。



自治会女性部は、アルファー米を炊き、1個1個丁寧ににおにぎりを作りました。今年は、牧之原小学校の5、6年生児童と牧之原中学校の女子生徒も炊き出しに参加し、手早い作業であつという間に約200個のおにぎりができました。

昨年、避難所運営委員会が発足され、マニュアルを基に研修会を開催したり、役員の代表者が視察に行ったりと少しずつですが、起動に乗りつつあります。これからの防災訓練はだんだんと本格化になりそうです。

